

西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/index.html>



忘れ去りし
 昔は山崎
 故郷の
 花



2016

会長あいさつ

西麗会会長 村上明夫(昭和36年卒)



全国の西麗会会員の皆さん、いかがお過ごしですか。最近「ソフトパワー」という言葉をよく耳にします。「ソフトパワー」は文字どおり「ソフト」なパワー、軍事力など「ハード」な力ではないソフトなパワー、例えば「文化」の力などを言います。

西麗会は「グローバル」な人材を育てる事に寄与しようと「グローバル応援プ

ロジェクト」を作りました。

具体的事業として「国際交流のための財政的援助」と「西麗会文庫」の設置を進めています。

世界はますます一つになりグローバル化しています。英語は単にアメリカ、イギリスの言語にとどまらず世界の共通語となりつつあります。グローバル化の進展です。

その一方、それぞれの国や地域の「文化」を大事にしようとするローカル化も一層、進展しています。二つの事が同時に進む。企業の経営にとっても、国や地方にとってもグローバルでローカルな「文化」が大きな力をもちつつあります。そんな現在の状況を表した造語が「グローバル」です。

西麗会は学校の進める在校生の一層のグローバル化、国際化への援助を微力ながら行なっています。また主に西高周辺の地域資産や見沼代用水などに関連する本を収集した「西麗会文庫」の西高図書館への設置を進めています。

西高がグローバルとローカルの「文化」に強い在校生を生み出すよう努力するつもりで、様々な事業を進めて行きたいと思えます。会員の皆さんのご協力を切にお願いすると同時に、皆様とご家族の健康を心からお祈り致します。

表紙のことは

忘れ草^{ひも}わが紐に付く

香具山の故^ふりにし里をわすれむがため

大伴旅人(巻三の三三四)

「忘れ草をわたしの衣の下紐につけよう。香具山の古い京(みやこ)を忘れるために」

昨年に続いて大伴旅人の歌。

忘れるために「わすれぐさ」を付けよう、と詠ったところに、かえって大伴旅人(当時太宰府長官)の強い望郷の念がにじむ。

《萱草(わすれぐさ)ヲシテ夏ヲ忘レシム》という中国の故事が日本に伝わって、このようなおまじないが流行るようになったのだろう。

「忘れ草」はヤブカンゾウで、本校北側を流れる見沼用水のほとりにも群生地がある。地域の人たちが1年中、手入れをしているおかげで株数も年々増えているようだ。

夏になると鮮やかなオレンジ色の花をつけ、見沼の遊歩道をはなやかに飾る。地域の人たちのご苦勞を知っているだけにいっそう美しく感じられる。

(歌の解釈は『万葉の庭—散策の葉』より)

私と西高

ボールとともに



今井 敏明 (昭和四十八年生)

の時にしつかり鍛えられました。そして2年の時に、新入生に西野君等が入り高校総体県予選・準決勝で浦和南に再延長の末に勝利、浦和市立との決勝は延長の末1-2の敗戦でした。しかし、強豪校と戦えるようになり、我々には全国大会が視野に入りました。秋の高校選手権予選、さあ今度こそと意気込んで臨んだ大会、ところが、夏の練習試合で大勝していた慶応志木高校にまさかの1回戦負け。あの時の虚脱感は今も忘れられません。

4勝2分9敗、さあこの成績は？さて、私が西高に入学した年、1970年、メキシコ・ワールドカップがありペレ率いるブラジルが優勝、まだ日本ではワールドカップは夢の夢という頃でした。高1の夏、都内へ吉倉君らと記録映画を観に行ったことを覚えています。それから、練習が終わってから映画で観たブラジルや各国のゴールシーンを真似、サッカー部の仲間と何度も何度もグラウンドで繰り返ししたものでした。

当時を思い返してみるとプールと合宿所が完成、高台のグラウンドとともに非常に良い練習環境でした。おかげで、1年

空気が溢れ、サッカーでも大事な「自主、自立の精神」を自然に植えつけていただけたのかと思います。多くのユニークな先生方のおかげで、私のようなものでも無事卒業でき、大学に入り、高校で果たせなかった日本一のタイトルも得られ日本リーグでもプレーできました。

自分は選手としてのベ이스を西高時代に築け、また、指導の始まりも西高にありました。選手を引退した後、仲西先生のサポートで時々コーチをすることとなりました。83年中川キャプテンの代は、高校選手権予選・決勝に進出、そして、87年中村キャプテンの代には初の高校総体出場を果たしました。それを契機に、東京ガス(現FC東京)、日本文理大学等の監督を経て、2000年には川崎フロンターレに。コーチとしてのスタートでしたがリーグ戦途中から監督に就任、しかし、順位を上げられず残念なJリーグでの仕事でした。

その後、チャイニーズ・タイペイ(台湾)代表の監督としてアジア各国での試合を経験させていただき、また、灼熱のアフリカ・スーダンや厳寒のモンゴルでの指導等、様々な環境でのサッカーを経験してきました。特に、スーダンでは出国ビザがないと日本に戻れないという窮地に陥り、心配してくれた友人の藤田君は外務省まで電話してくれたものでした。

冒頭の勝敗、あれは私が指揮したFIFA国際アマッチでの成績です。その中にはワールドカップ2010南アフリカ大会予選もあります。台湾と強豪ウズベキスタンとの対戦、初戦はタシケントで大敗を喫しましたが、台北では残り10分まで0-0と大健闘しました。当時の台湾代表選手諸君と過ごした時間も忘れ難い良き思い出です。

サッカーでも社会でも大事なことは、独立した個人が目標をもって協力し合うことではないでしょうか。単にチームプレー(社会)に流されることなく、特に攻撃では個人の自由な発想で創造的なプレーを発揮してもらいたいものです。

現在は我々の高校時代とは違い、超高齢化社会に向い、なかなか明るい展望を抱けない社会状況かと思えます。しかし、私は今後も夢を抱き、ボールとともに歩んでいきたいと思えます。最後になりましたが、西高の先生方、同級生、先輩・後輩諸氏のおかげで多くの経験ができたものと感謝いたしております。

(プロフィール) 1954年生、サッカーコーチ、選手歴：浦和西高、早稲田大学、富士通、指導歴：東京ガス(現FC東京)、日本文理大学、川崎フロンターレ、チャイニーズ・タイペイ(台湾、男・女代表)、スーダン代表(南スーダン・ジュバにも滞在)、モンゴルにて少年指導等

写真 2006年2月 イランでのAFCアジアカップ予選後の会見時チャイニーズ・タイペイ(台湾)代表監督(当時)



あの先生は今



2015年5月開催の西麗会総会のご案内に対して寄せられた先生方のご近況です。敬称を略させていただきます。

●さいたま市 青木 香 (英語)

川口市立県陽高校に異動しました。新しい職場にも西麗会員がいます。母校の発展を願いながら現任校の発展に力を注いでいます。

●東松山市 荒井 桂 (社会)

新米教師として奉職した浦和西高校は、練達の教師群を擁しており、私は「早くガツカリされない先生になってね」と女生徒から慰められ励まされたものである。

●川口市 石原慶代 (英語)

宮崎学年の卒業生と会う機会がありました。様々な分野で活躍されていること、卒業生同士が繋がっていること、頼もしいです。私も今の職場で西高の先輩と繋がっています。

●さいたま市 伊藤美和子 (事務)

会報楽しみにしております。相変わらず好きな手芸を楽しんでおります。西麗会の益々の発展を祈ります。

●千葉県長生郡 上野賢樹 (社会)

総会に欠席します。

●さいたま市 白木恵二 (音楽)

3年前より目黒星美学園小学校聖歌隊の指導と、小学校1年〜3年生の授業を担当しています。孫のような子供達と楽しくやっています。

●熊谷市 内田利吉 (教頭)

児玉白楊高校で16年ぶりに授業をしております。在職中は大変お世話になりました。皆さまによりしくお伝えください。

●さいたま市 内海達哉 (社会)

昨年退職し、1年間再任用で働きましたが、今年は仕事を辞め、趣味に興じます。旅行、地図スケッチ、農作業、古文書学習といういろいろで忙しいです。

●川口市 岡沢静子 (国語)

それなりに元気です。老いという未知の世界の探検。

昨年度 総会



●さいたま市 小林 功 (国・司)

春、卒業生の保護者のみなさんと目白で花見。卒業生の近況を伺い、二〇年前の自分に出会ったような不思議な時間を過ごした。

●鉾田市 斎藤 恂 (国語)

イルカの大群が毎朝散歩している海岸に打ち上げられて、鉾田の名前が全国にデビューしました。近くの中学生も総出で救助に当たりましたが、僅か3頭しか助けられませんでした。

●さいたま市 島崎富夫 (教頭)

現在、埼玉県高等学校PTA連合会事務局で仕事をしています。今後も西麗会役員の立場で母校と後輩たちを支援していきたいと思えます。

●さいたま市 菅原鉄也 (国語)

今年も北陵高校生と一緒に、学び合っています。西高のときにお世話になった先生方と、今でも年に数回旅行を楽しんでいます。

●上尾市 楚山大和 (英語)

大学での教職生活も最後の年。学生達から随分と元気をもらい感謝しています。若かった僕の西高時代のかけがえのない体験を授業の中で学生達に紹介しています。骨董、盆栽等の趣味も続けます。

●さいたま市 菅野吉雄 (校長)

4年前に樹齢一千年を越す福島・三春の滝桜の子孫樹を西高図書館前に植樹した。平成27年3月に初めて花が咲いた。西高の未来を祝福しているようだった。

●さいたま市 悴田てる (家庭)

私が初めて就職したのが西高の前身の第二高女でした。別所沼の女子師範と一緒に別所沼校舎でした。皆さん元気に引っ越しをして東に移っても西高なのですね。

記念授業・岡野豊先生



●さいたま市 中村 清 (国語)

会報に接し、在任当時の日々が蘇ってきます。昨年は創立80周年。現役時代に30周年と40周年記念誌の編集に取り組んだことを思い出します。

●川越市 中村正美 (英語)

「今をしつかり生きる」ことを日々の目標に元気でやっています。教職も続けています。「永遠に生き続けるかの如く学問し、明日死ぬかの如く生きよ」が座右の銘です。

●吉見町 堀口幸夫 (教頭)

勤務した二十数年前を思い出します。服装は自由、県下有数の伝統校、生徒はのびのびとして優秀。本当に楽しかったです。更なる発展を陰ながら祈念しています。

「水素イオンの不思議」



●さいたま市 山口畑一 (社会)

平成二十七年五月一日発令の高齢者叙勲に於いて瑞宝小綬章に浴しました。心より感謝申し上げます。

叙勲額祝い賜る教え子も早古稀を過ぐ健やかに在れ 爽風

●鴻巣市 吉住登喜江 (事務)

西麗会報いつもありがとうございます。楽しく拝読しております。懐かしく若いころを思い出します。昨年は目の手術で1.0から0.9まで見え、車の運転もしております。

●さいたま市 芳野弘明 (教頭)

総会に欠席します。

●さいたま市 米原 豊 (音楽)

西高管弦楽部卒業生が中心となつて結成のNIIONフィルハーモニー管弦楽団でピアノを弾いています。ベートーヴェンの「第九」を目指し、西麗会のお力添えで花を咲かせられないかと夢を見えています。

●鳩山町 和田幸男 (地理)

役員の皆さまの会運営尽力に感謝します。同窓生の動向を毎号楽しみにしています。齢七〇を重ね、時に級友と放蕩し、孫と戯れています。次号四〇号記念号を期待しています。

校歌斉唱



訃報

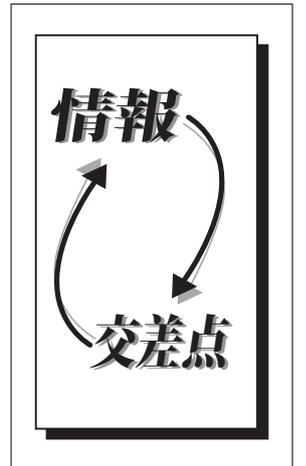
謹んでお悔やみ申し上げます。

●永瀬正臣先生 (校長)

平成26年10月9日に召天いたしました。生前賜りましたご厚情に心より御礼申し上げます。

(ご家族より)





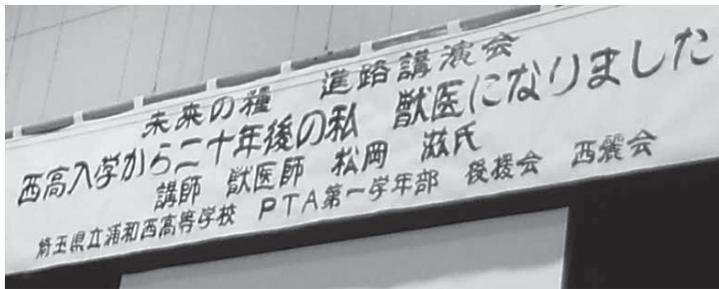
- 弓道部は山崎瑞紀さんが県大会9位に入賞し、関東大会に出場しました。
- ソフトテニス部は荒井海夕さん、中沢夏美さんが県大会に出場しました。
- 器械体操部は県南部地区大会において女子団体総合5位に入賞し、南條由布子さんが「エレガント賞」を受賞しました。
- 田中美貴さん・町田萌さんは絵画作品が県展に入選しました。
- 町田萌さんが描いた第65回西高祭ポスターは、「2015年文化祭ポスターコンクール」で優秀賞に選ばれました。



▲第65回 西高祭ポスター

○本会会員で放送作家の石川昭人さん(平成5年卒)は2015年9月6日、第65回西高祭のPTA文化講演

会において「放送作家への軌跡 キ・セ・キ」と題する講演を行いました。本会会員で獣医師の松岡 滋さん(平成9年卒)は2015年10月30日、一年生対象の進路プログラム「未来の種」において「西高入学から二十年後の私 獣医になりました」と題して講演を行いました。



▲未来の種

西高へ大学へ開業から現在に至る



▲松岡 滋さん

までのご自身の経験を熱く語られました。特に「国家資格を持つ人は社会貢献をすべきだ、仕事はハードだが小さな命のために日々勉強を重ねている。西高での3年間を大切に」というお話は印象的でした。

講演後の質疑応答も活発に行われ、きつと生徒たちの心に響いたことと思います。(事業部)

○本会会員で俳優・声優の清水マリさん(昭和30年卒)はさきたま出版会より『鉄腕アトムと共に生きて——声優が語るアニメの世界』を出版されました。

「別所沼のほとり」その後
併設中学校
卒業生の皆さまへ

「西麗会報」第39号にて、戦後の学制改革に際して設置された浦和第二女子高等学校の「併設中学校」について情報提供をお願いしたところ、同校卒業生の方からおたよりをいただきました。ありがとうございます。

昭和23年3月に73名、翌24年3月に18名が「併設中学校」を卒業されました。この91名の皆さまは卒業後、どのような人生を歩まれたのでしょうか。どうぞ「西麗会広報部」あて、近況をおしらせください。

お世話になった先生方

平成27年度人事異動 (敬称略)

教頭	内田 利吉	児玉白楊高校
国語	加藤 和江	大宮北高校
地歴公民	長谷川 博	浦和一女高校
地歴公民	文田 達也	桶川西高校
地歴公民	新井 弘子	大宮武蔵野高校
地歴公民	清水 裕	任期満了
地歴公民	岩永洋一郎	任期満了
数学	増淵 洋之	いずみ高校
生物	門脇 献一	川越西高校
保健体育	中嶋 悠	新座高校
英語	鈴木 保徳	草加南高校
英語	竹内美紀子	所沢西高校
事務室長	立田 智樹	川口北高校
事務室	田島 薫	吉川美南高校
事務室	池田 友子	戸田翔陽高校
主任司書	中山 淳子	鳩ヶ谷高校
国語	森谷 博治	任期満了



あの友 この友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

岡山市 鎌木美恵子(昭和14年卒)

何時も会報を有難うございます。今年も庭の櫻の木の下でお花見会を致しました。六人集まりお花見辨当やお抹茶を美味しく頂きカラオケまで出来て楽しい一日でした。最高令九十六才平均年令は八十七才でした。感謝。感謝。

新座市 北原(池田)昌子(昭和19年卒)

戦中のご卒業旅行もなし、つまらないでした。思い出は運動会のハードル選手だったこと、井田先生とのこと、田植え、軍服作業等アルバムを出して眺めております。友人は減りました。

さいたま市 赤羽根敏子(昭和29年卒)

一人暮らしを15年続けてきましたが、腰痛等により、サービス付き高齢者住宅を入居。退居しています。留守を守る愛猫の為にリハビリを頑張ります。

さいたま市 田口栄一(昭和29年卒)

私の西高は別所沼の坂上にあつた木造校舎です。个性的で熱心な恩師の面影、学友を想う。大器晩成、我未だ成らず大器を超越したるや。西麗会永遠なれ

姫路市 山田幸宏(昭和29年卒)

「別所沼のほとり」を拝読。当時は西高の裏口近くに住んでおり、別所沼ではエビ掬い、ハヤ釣りに夢中でした。沼の東は台地の雑木林(現在住宅地)で早朝のカブト虫、マツケを探しに喜々としたものです。

鴻巣市 松田(中田)静穂(昭和29年卒)

病弱な三才頃、医師が母に「このお子さんは十八才まで生きられるかどうか。」を聞き、今年傘寿を祝う海外旅行に行つて来ま

した。夢の様です。感謝!!

仙台市 渋谷(関口)澄子(昭和30年卒)

思うように歩けなくなり、総会へ行けず、残念に思っております。会報を読むと友のことをなつかしく思い出します。次号も楽しみにしております。

上尾市 加藤(矢部)正納(昭和30年卒)

私りそな銀行サポーターアドバイザー
草加市 栗本(斎藤)東子(昭和31年卒)
早生まれの私、喜寿となり短歌を日々の友として過しております。はるか昔に日々に「壁ドン」せし夫は彼岸に今も待ちてくるのか

さいたま市 荒井利尚(昭和31年卒)

西高を卒業してから六十年が過ぎた。昨年末、年賀欠札のハガキを沢山貰い、近親、社友、旧友、同窓生にこれまでのうち最多で、改めて自分の年を思い知らされた。これからはあつたの風がどう吹こうと、ひたすら前を向いて一歩一歩です。

さいたま市 三須(原島)良子(昭和33年卒)

卒業して半世紀を越えましたのにいつも西麗会会報をお送り下さりありがとうございます。私は昨年七十五才にして初めてマンション住いになりました。よろしくお願ひ申し上げます。

さいたま市 沢村(前川)栄子(昭和34年卒)

いよいよ後期高齢者の仲間入り、腰や膝の痛みに悩まされています。七十代を上手に乗り越えるのは結構大変ですが少しでも前向きに頑張りたいと思っております。

千葉市 佐藤(河合)喜和子(昭和35年卒)

相変わらず漢方に親しんでいます。最近メディアで「葛根湯」が万能薬と報道されま

した。良い薬ではありますが、万能薬ではありません。情報に振り回されないようにしましょう。葛根湯は急性感染症に使います。風邪の初期、のどの痛み、項背部こわばる、無汗が診断のポイントになります。

新座市 松村(鈴木)昭子(昭和35年卒)

四月中旬になり、暖かく、風がふいていますね。元気で過ごしています。西麗会の皆様もお元気でお過ごし下さい。

大町市 八木 正(昭和35年卒)

夏には運転免許の更新で、これからは講習が必要との事ですが、免許証返納がベストと思うのですが、田舎では羽根をもらった小鳥です。「ヨシやっぱ取り取ろうか」

さいたま市 吉村克昌(昭和35年卒)

悲しいかな母校の衰退! 願う「リベンジ」
名古屋市 島宗俊郎(昭和36年卒)
もう少し、現役を継続します。本年四月より大学院修士課程に入学致しました。人生の忘れ物をしないように。

文京区 林野 宏(昭和36年卒)

社会に出てから50年の年月が過ぎ去った。何か新しいことにチャレンジし続けていきたい。D・JをインターFMでやります。ポール・マッカートニーと同じ年です!!

松戸市 富田鎮雄(昭和37年卒)

ミスター西麗会ともいえる村上会長あいさつ、荒桂さんの名歌2首、俣田先生の95歳館野さんの国語への情熱等、西高力が響いてきます。会報に勇気づけられます。

さいたま市 片山瑛一(昭和39年卒)

古稀を迎える年令になってしまい、人を恋しく思う今日このごろです。自分の趣味であるハーモニカとコカドーナを、これからもずっと続けていきたいと思っております。

水戸市 根本明徳(昭和39年卒)

古希の年になって現役復帰。一年間という依頼で、県観光物産課で外国人誘客、特に教育旅行団の受け入れを担当しています。やってみると意外におもしろいです。

さいたま市 佐野和義(昭和39年卒)

今年も5月に恒例のソフトボール大会を催しました。70才になるとつらいです。あと

何年出来るかな。『白球追う古稀の男ら健在なり』

蓮田市 後藤鉄四郎(昭和39年卒)

元気が頑張っています。しかし、運動もやらず、食事も、アルコールも食べたい時に、食べたいだけ。時間におわられて一日が終わる。身体回りを整理したい。

上尾市 菅原安則(昭和40年卒)

ロードレーサーで峠を登っています。富士スバルライン、乗鞍スカイライン、日光いろは坂etc. 冬はボウリング毎週二〇〇〇up目指しています。

さいたま市 和田淳一(昭和40年卒)

長きに渡りコーチをしておりました女子バスケット部を退きました。現在は孫のミニバスを応援しております。現役の皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

習志野市 鶴澤利雄(昭和41年卒)

古巣の習志野の自宅に戻って来ました。ここを本拠に趣味の釣りやゴルフをするつもりです。他にも色々計画中、音楽や絵もね! 今だ現役で頑張っています。

名古屋市 平田春夫(昭和41年卒)

週末のヨット、平日は畑と里山歩き、図書館通いと元気にやっています。フェイスブックもやっていますので気が向いたら検索して下さい。

さいたま市 安東英治(昭和42年卒)

歳を重ね孫八人のジイさんで体もあちこち悪く医者通い、でも古き良き友と会っている時は元気に成れる。今年も又皆に会いたいし楽しみます。

川口市 関口(河野)彰子(昭和44年卒)

教員をしていると、よく浦和西高出身の先生方と出会います。みなさん、西高出身であることを誇らしく思い、楽しい高校生活を過ごしたようです。

白岡市 中村(清水)洋子(昭和44年卒)

毎年御連絡有り難うございます。同級生の先生に次女の高校でお会いできました。彼女は気づいていないと思いますが、私は卒業式にお話が出来て大変嬉しかったです。

蕨市 丸山(山崎)恵美子(昭和44年卒)

現在蕨市に住んでいます。今まで西麗会会報が送られて来た事がなかったのですが、今回初めて届いたようで実家に行った時に、受取りました。同窓会より同級会の方が興味があります。

練馬区 島(赤木)泰子(昭和45年卒)

今だにビートルズを大好きな私。おかげでいろいろな方達と知り合えることができ、とても楽しい日々を過ごしています。

台東区 佐藤春男(昭和46年卒)

月日の流れは早いもので、何々住所等変更、連絡出来ず、誠に申し訳なく、関係者の方々の御苦勞心より感謝致して、ここに心より御詫び申し上げます。心より

小金井市 渡部貞一(昭和47年卒)

定年退職して新しい職場に入り、二年目を迎えました。地元埼玉の商工業の振興に励んでいます。あの頃の校風が今も連綿と続いているようでとても嬉しいです。

北広島市 岩城真幸(昭和47年卒)

今年の4月から娘3人全員大学生になり、うれしいやら、もう少しがんばって学費をかさがたい!!

川口市 八木(加倉田)厚子(昭和47年卒)

二年前に大病をし、手術を二度受け、今、普通に生活出来ている事に感謝する日々です。年一回の会報が届くと、気持ちがあはれさせられます。

さいたま市 志水(茂)昭(昭和47年卒)

一時期、病気をしましたが、現在、心も体も健康です。元気でます。まずは近況報告まで。

蕨市 荒川薫雄(昭和48年卒)

今年で㈱マスターズを開業して丸10年。一昨年に弊社の住宅の購入契約に現れた、聡明快活な女性は何と西高の後輩。聞くと御両親も西高卒とか！世間は狭いです。

大阪府北区 小島健一(昭和50年卒)

今春初孫が入園式を迎えます。ついこの間まで下の世話を焼いておりましたが、今や「お祖父ちゃんのお風呂は熱くて嫌だ。」と一端の口。少年易老学難成一寸光陰不可軽。

東松山市 富樫正紀(昭和50年卒)

58才で退職し、毎日家族の通院専属運転手として働んでいます。年金受給までの5年間を只食い繋ぐのでなく、今まで出来なかつ

さいたま市 小田郁子(昭和53年卒)

初代西高サッカー部のマネージャーとしてグラウンドでサッカーを見ていた時から行ってみたいと思っていたスペインに、28年間住んだ後、昨年(H26)8月に帰国しました。丹羽郡 西 尋司(昭和54年卒)

藤沢市 阿野幸一(昭和55年卒)

文科大学国際学部で英語教員養成を行って、NHKラジオ「基礎英語」の講師も8年になりました。西高学校評議員として母校に関わらせていただいています。

東久留米市 杉井(川鍋)美佐子(昭和55年卒)

フランス在住の旧友が一時帰国した時、何人かの同級生と30年ぶりに再会しました。卒業して35年なので同窓会出来たらいいなと思っています。いとこの息子が昨年春から西高にお世話になっていました。

枚方市 戸田(和)和栄(昭和55年卒)

関西での暮らしも十五年め。こちらに旅行で来る同窓の友との出会いを楽しんでいます。

豊島区 田口(矢嶋)里香(昭和55年卒)

西高の2年先輩の新体操部の方と去年に続き今年もお目にかかります。私は器械体操部でした。県立高校の教員をしております。定年まであと7年となりました。

三郷市 山下勝矢(昭和55年卒)

会報誌の同級生の欄に必ず目を通しています。現在、埼玉県議会議員2期目に入り、我が母校を応援できることをありがたく思っています。

桶川市 小橋和則(昭和57年卒)

山登り、サイクリング、強歩大会、ツーリング等毎週のように同級生に遊んでもらっています。留年と同級生、そして西高に感謝しています。

さいたま市 濱田(秋葉)珠世(昭和58年卒)

この春、娘が西高を卒業しました。再び西高生活を傍で見守ることができ、楽しい三年間でした。

新発田市 桃井雅史(昭和59年卒)

西高卒業後、新潟大学へ。そのまま新潟県で教員になり今年で27年目。二人の子ども

練馬区 菅野(水間)洋子(平成7年卒)

結婚してから、なんと美容師になりました。現在夫婦で美容室を営業しています。子ども3人育てながら、美容師として日々精進してまいります!

目黒区 中村(新井)清二(平成8年卒)

大学教員です。受講生に西高卒業生が時折います。一味違う意見をくれるので講義の質があります。同僚も同意見です。このご時世ますます自由が尊いです。より自由な学びを大切に!!!

鴻巣市 佐藤裕和(平成8年卒)

熊谷農業高校にて教鞭を執っています。いつか母校でと願っています。現在西高勤務の齋藤先生、池田先生には大変お世話になってます。

スミス 中澤陽香(平成9年卒)

もう20年近く前に卒業しましたが、前号(第39号)で、在学中お世話になった管弦楽部の先輩や、個性豊かな先生方が現在も元気に活躍されているとのこと、とてもなつか

会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

江東区 渡辺(大島)みよ(昭和13年卒)

毎年送って頂きありがとうございます。2014年4月に92才の生涯を閉じました。読書好きで亡くなる直前まで、心身共に元気でした。女学校時代の話しもよく聞かされました。お世話になりました。娘より

岡野(木村)貴和子(昭和15年卒)

平成26年7月10日、93才にて永眠いたしました。長患いでしたが逝く時は、草木が枯れるように安らかでした。皆様のご健勝をお祈りいたします。遺族

宮城郡 澁谷(中村)照子(昭和16年卒)

平成26年7月10日に死去いたしました。生前お世話になりました。台東区 本田静子(昭和23年卒)

仙台市 鈴木(大久保)郁美(平成14年卒)

昨年九月末に仙台に引越し十二月に入籍しました。初めて引越をし慣れない環境でしたが、徐々に馴染んできているかと思えます。飯能市 蘆名伸明(平成20年卒)

東京都北区 吉田(薄田)早希(平成12年卒)

住所変更を五年程放置していました。西高時間です。(嘘です。すみません。)小林先生が会報がらばって下さっているのがうれしいです。ありがとうございます。

小笠原村 近藤美生(平成12年卒)

自分のペースを保って楽しく暮らしています。

蕨市 藤田新太郎(昭和33年卒)

平成26年3月に亡くなりました。長い間西麗会会報をお送り頂きありがとうございました。これからも会の発展をお祈りいたします。妻より

横浜市 石井(川村)辰美(昭和33年卒)

妻辰美(昭33卒)は平成25年11月に天に旅立ちました。貴方のリストから削除して下さい。石井孝(夫)

さいたま市 田村公一(昭和34年卒)

連絡がおそくなってしまいました。田村公一は平成24年8月4日に亡くなりましたのでよろしくお願いたします。

座間市 長澤(小林)貴美子(昭和36年卒)

長澤貴美子は平成26年3月29日、71才で死去しました。大変お世話になりました。夫・長澤良雄

さいたま市 澁谷(厚)昭(昭和36年卒)

平成26年6月6日に主人が死去いたしました。西麗会の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

た新たな事への挑戦にしたい。

も大きくなりました。これからはまめに帰省したいと思えます。

平成25年11月14日に逝去しました。故人が生前賜りましたご厚情に心より御礼申し上げます。浅草に実母静子の仏前が有ります。長男本田俊一

茅ヶ崎市 水島栗原靖子(昭和38年卒) 亡くなりました。

越谷市 青木信之(昭和50年卒)

さいたま市 後藤一将(昭和59年卒) 平成20年から中央区に住んでいます。荷物整理をしていたら、会報をみつつけ住所変更をしていないことに気づき、はがきを書きました。今年とうとう五十路です。

宇津(金丸)多美子(昭和26年卒) 前略 私は宇津多美子の長男の宇津真治です。母は8月4日に逝去しました。

大田区 大倉上野 悠美子(昭和38年卒) 前略 同窓会の通知が届きましたが、妻悠美子は平成26年10月22日、胆管肝臓カンを死亡しました。(享年70才) 以上お知らせまで 草々

さいたま市 恩田雅明(昭和50年卒) 県庁バレーボール部の部長として若者と交流、秩父含め県北の建築安全を熊谷建築安全センター所長として願い、家では妻と人生前向きで酒を片手に将来を思索中。

東京都北区 設楽信生(昭和60年卒) 先日はOGの方より蔵書整理のご依頼を頂きました。学術書ほか和本や美術品、幅広く応じます。沢山の本でお困りの方、古書・あざぶ本舗までご用命下さいませ。

さいたま市 高野亨子(昭和26年卒) 平成26年3月より入退院を繰り返しておりましたが、平成27年3月19日他界しました。長い間西麗会報をお送りいただきましてありがとうございました。(妹)

上尾市 福島徹也(昭和38年卒) 二年間の闘病生活の後、平成26年10月1日死去いたしました。生前はお世話になりました。

久喜市 齊田保彦(昭和50年卒) 今やサッカーと野球はポピュラーなスポーツです。全国大会に出場できる日を楽しみにしています。あと2年で退職！現在、西高の先輩と同じ職場で働いています。

福岡市 増田恵子(昭和60年卒) 我が人生も半世紀が過ぎようとしています。自分らしさを大切にしてこれたのは、西高時代の3年間のおかげです。自主自律、エンジンヨイ精神の原点です。

小池(横)トシ子(昭和27年卒) 母トシ子は一昨年に他界致しました。生前は大変お世話になりました。申訳ありませんが、主人白石初夫は、昨年十二月十日亡くなりました。生前、お世話になりましたことと主人になり代わりまして、お礼申し上げます。(妻) 白石禮子

さいたま市 田中 修(昭和38年卒) いつもお世話になっております。主人(田中修)は二年前に亡くなりました。今までありがとうございました。「平成25年1月23日没」68才

世田谷区 小林成信(昭和51年卒) 昨年、5年ぶりに日本勤務となりましたが、月に一度は外国出張の日々です。会報を見る度に西高を思い出して、日本にいるのだなとの感慨を深くします。

名古屋市中区 今林 宏(昭和61年卒) 六年間の中国天津での駐在を終え昨年日本に戻りました。しかし社会人生活は名古屋が基点になり埼玉にいた頃がなつかしく西麗会会報を楽しんで見えています。

習志野市 伊藤(西村)良子(昭和30年卒) 妻良子儀平成二十四年四月二十一日他界生前のご好誼深謝申します。

山崎卓美(昭和38年卒) 山崎卓美は平成25年6月に逝去致しました。お世話になりました。

石岡市 出水良弘(昭和51年卒) 先日、TVで西高女子サッカー部の練習風景が放送されていたのを見て、なつかしく思いました。平成29年の同期会には、出席したいと思えます。

日野市 佐藤(望月)洋子(昭和61年卒) わが子が高校に通う年頃になりました。自分自身の西高時代を懐かしく思い出します。

船橋市 義熙(前田)典子(昭和30年卒) 母は平成26年8月7日に他界しました。先生方や学友に恵まれ、とても楽しい学生時代だったとの事です。生前は皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。

松戸市 網 徹(昭和41年卒) 父網徹は平成27年4月1日に67歳で天寿を全う致しましたのでお知らせ致します。生前は色々とお世話になり、有難う御座いました。

神戸市 榎田(赤羽根)敬子(昭和51年卒) 二十三年ぶりに女性合唱団に復帰しました。なんと「コダーイ」の曲も歌いました。足腰は疲れる、歌詞は覚えられない。プランクは大きかったーでも、頑張ります。

さいたま市 相原(田中)愛(昭和62年卒) いつもありがとうございます。

大和市 関口守男(昭和31年卒) 関口守男2012年12月に亡くなりました。大変お世話になりました。皆様の御健康をお祈りしております。関口内

さいたま市 松川邦生(昭和43年卒) 邦生他界いたしました。

板橋区 石川(大熊)理恵(昭和51年卒) 選歴を迎える平成29年に、同期会を予定しております。前回の通知が届かなかった方で、出席ご希望の方は、名簿の石川宛にご連絡くださいませ。

札幌市 倉上(矢部)優子(平成4年卒) 北海道札幌市に転居して1年になりました。札幌は住みやすい街です。北国の冬は厳しいですが、冬景色も素敵です。今年も道内を満喫できたらいいなと思えます。

秋谷唯夫(昭和32年卒) 平成26年12月夫・唯夫が永眠致しました。生前御交誼賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

戸田市 奥田純子(昭和47年卒) 娘純子は平成6年に亡くなっています。母横浜市 山口(白坂)亜紀(昭和59年卒) 山口亜紀の夫です。妻の亜紀は平成26年6月15日、青信号の横断歩道を歩いている途中、前方不注意の軽トラックにはねられ、逝去しました。生きていれば、高校の同窓会のことで大いに盛り上がったことと残念でなりません。つつしんで報告いたします。

練馬区 新藤(小磯)葉子(昭和53年卒) お世話になった悴田先生、95才でお元気でした。私はまだ55才、これからもいろいろなこと挑戦していきたいです。

昭島市 高橋和歌子(平成5年卒) 長女が8歳、次女が5歳になり、私は自宅をピアノ教室を始めました。

さいたま市 寿山(小原)弘子(昭和32年卒) 妻弘子は平成27年3月9日に永眠いたしました。生前中はお世話になり、ありがとうございます。

川口市 仲宗根潔(平成19年卒) 息子は西高で自由な時間を持つ事ができ充実した三年間を送り自分で決めた道を邁進していましたがH27・2・11急逝いたしました。皆様に御礼と感謝を申し上げます。(母)

弘前市 寺田(内田)紀代子(昭和53年卒) 青森に嫁ぎ三十年。西高は遠いです。会報に音選の授業で第九を歌う記事が。白木先生の授業でオカリナを焼いて演奏したこと思い出しました。先生お元気ですか？

白岡市 高畑(武蔵)あづみ(平成5年卒) まだまだ子育てに手がかかりますが、楽しく過ごしています。西高時代は本当に良い思い出です。

さいたま市 谷川善一(昭和32年卒) 夫善一は平成26年6月30日亡くなりました。生前中、お世話になり、ありがとうございます。

桶川市 竹内大介(平成5年卒) 桶川市坂田に新居を構えました。妻と子供

桶川市 坂田に新居を構えました。妻と子供

桶川市 坂田に新居を構えました。妻と子供

桶川市 坂田に新居を構えました。妻と子供

桶川市 坂田に新居を構えました。妻と子供

二〇一五年度

寄付者のお名前

(敬称略)

毎年、多くの方からご寄付をいただき、ありがとうございます。
西麗会の活動は、卒業生が入会する際の終身会費と、その後の任意のご寄付によって支えられています。

皆様からのご寄付は、現役の西高生の自治的活動を応援するための「西高祭援助金」のほか、入学時の記念品、卒業時の卒業証書ケースの贈呈など、後輩たちにも喜んでいただいております。

千円、二千円の尊いご寄付がたくさんの方から寄せられると、現役西高生への応援にもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

高際ひさ子 高野亨子
吉田克子

昭和27年卒(4回)

鶴澤美夜 梅田亮子

昭和28年卒(5回)

川岸萬知太郎 長島千和
重田圭子 島田幸子

昭和29年卒(6回)

黒澤和子 佐々木文子
田口栄一 山田幸宏
大熊幸子 金子美里
西口和子 松田静穂

昭和30年卒(7回)

小林茂水 渋谷澄子
森井良子 加藤寛之
鈴木正明 清水英明

昭和31年卒(8回)

新井英一 長浜勝栄
松本晃 山根祥二
栗本東子 冷水俊朗
荒井利尚

昭和32年卒(9回)

今井忠 門本ヨリ子
小林久江 立川武司
府川代四男 渡辺正朋

昭和33年卒(10回)

古畑喜美子 竹ノ谷光美
町田利之 太田美智子
本庄久子

昭和34年卒(11回)

小川紀夫 清山和男
宮崎伊都子 高橋幸雄
堀野忠夫 中枝和子
窪川悦澄 川畑啓子
岡崎輝子 井川征郎
吉田維夫

昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 松村昭子
林正子 高橋恵美子
横田光子 佐藤喜和子
高橋正臣 八木正
吉村克昌

昭和36年卒(13回)

輿水敏男 村上明夫
小川敬子 高橋司全
青山明子 斉須祥子
島宗俊郎 豊島義明
野口純一 青木得男
林野宏

昭和37年卒(14回)

青池治代 秋山圭子
大山俊子 佐藤セツ子
酒井順子 角田全子
長本和子 福島眞砂代
石倉一雄 金子毅一
神田邦男 川又忠昭
桐生碩博 坂井公平
須崎保行 永井勝
林聡慧 高橋勝行
都築良二 富田鎮雄
小林司郎 細田勝彦
佐藤誠吾郎 正能一男

昭和38年卒(15回)

白鳥進 藤井克己
吉岡信二 秋山悦男
大熊隆 小林繁実
浜田宏治 八木正武
匿名

昭和39年卒(16回)

鈴木由美子 那須雅江
山田菜穂子 村井公子
小川陽子 片山瑛一
鈴木勲 根本明德
田中裕子 守川黎子
小寺秀仁 島村一彦
山田康博 宇治田進
内山一郎 金子芳雄
後藤鐵四郎 永田裕
村井勝美 佐藤誠造
森茂 山田信彦

昭和40年卒(17回)

鶴岡保 熊木謙論
蛭間規光 服部光之
古瀧美智子 中村邦子
金子揚子 富田輝子

昭和41年卒(18回)

鶴澤利雄 大木葉博通
西野久美子 宇根等
新藤文男 武内一雄
江川清 佐藤裕子
関根燿子 高橋みつ子
池澤堯彦 増子啓三

昭和42年卒(19回)

稲垣昇 伊藤さみ子
安東英治 阿部輝雄
甲斐佳晶 上倉功
齊藤勉 河合のり子
佐竹恵津子 松本知歌子
松本登美子 佐藤良雄
匿名

昭和43年卒(20回)

石井裕 松田博
小穴好徳 山岸勉
永田喜雄 西村富夫
安楽真知子 片柳夏代
三谷真弓 板野敏子
木村美代子 本間葉子
八木純子 磯田喜美子
福田純 千谷一郎
片岡素子 久保田幸恵
山下和子

昭和44年卒(21回)

安藤昭 奥山清志
関口彰子 石井均
金子正男 丸山紀子
榎原啓子 匿名

昭和45年卒(22回)

吉田和枝 島崎富夫
綿貫保子 島茂美
島泰子 中野千枝子
赤羽真如 林一雄
阿部博之 新井康俊

町田稔枝 大熊幸雄
平田春夫



西高周辺をくくく見て歩き

赤山街道 第1回

浦和西高校周辺には「見沼田んぼ」「見沼代用水」をはじめ、江戸時代にまでさかのぼることのできる貴重な歴史遺産があります。

今回紹介する「赤山街道」は江戸時代に関東郡代として河川改修や新田開発を行った伊奈氏が、今の川口市赤山に築いた赤山陣屋と与野本町方面を結ぶために整備したもので、今なお生活道路として使われています。

西高生にもゆかりのある「赤山街道」の一部を歩いてみました。

赤山通り商店街から出発

西高生の多くが利用するJR与野駅東口の旧中山道の交差点から、西高通りの1本南側の道に入ると、そこは「赤山通り商店街」です。この商店街は昭和40年代にでき、以前は中山道側の入口にアーチも設置されていましたが現在は営業している店舗の数は減り、閑静な住宅街といったおもむきです。それでも、公衆浴場、手作り豆腐の店、街の電器店、飲食店などが健在で、地域に根ざして営業している様子がうかがえました。



赤山通り商店街

1966(昭和41)年に西高通りが開通する前は、与野駅を降りた西高生はこの道を通り、クランク状に曲がって通学していました。

異年齢の西高卒業生が集まると、「ほかのころはまだ西高通りがなかった」「私が2年生のときに西高通りができた」などと盛り上がりがあります。

大東の富士塚

商店街を通り抜けて産業道路を横断すると畑も見えてきます。赤山街道はこの付近がいちばん西高に近くなります。



大東の富士塚

児童公園の一角に高さ3メートルほどの築山のようなものがあります。これは江戸時代にできた「富士塚」です。この塚の頂上には1817(文化14)年に建てられた庚申塔があり、青面金剛像が彫り込まれています。

さるまん塚

ここからさらに東に進み、第二産業道路、北宿通りを横断すると、「さるまん塚」と呼ばれる塚に庚申塔が建っています。こちらは大東にあったものよりもさらに75年古い1742(寛保2)年に建てられたも

のです。
 庚申塔正面に青面金剛像があるのは同じですが、塔の右側面に「東八赤山道」、左側面に「西八大宮道」とあります。この案内に従い、東に向かいます。



さるまん塚

旧高野家離れ座敷

国道463号バイパスを横断してすぐに、「旧高野家離れ座敷」があります。江戸時代の蘭方医・高野隆仙(1811~1859)が建てた茅葺き寄せ棟造りの建物で、四畳半ほどの主室には茶事の炉が切つてあります。

江戸末期の蘭学者・高野長英(1804~1850)が幕政批判のかどで捕えられ、1844(弘化元)年に小伝馬町牢屋敷から逃亡した際には、その1ヵ月後にこの離れ座敷にかくまわれたと伝えられています。

隆仙は、長英がこの離れを立ち去った翌夜に留置されましたが、石ぎめの拷問を受けても長英の行方を



▶ 旧高野家離れ座敷



▶ 大熊家表門

告白せず、そのときの傷がもとで1859(安政5)年に49歳で亡くなりました。この事件は吉村昭の小説『長英逃亡』(毎日新聞出版、新潮文庫)にも描かれています。

大熊家表門(旧浦和宿本陣表門)

ここで赤山街道を少し北側にそれ、大熊家表門に寄り道です。これは中山道浦和宿本陣の表門として江戸時代末期に建造されたもので、浦和宿本陣唯一の遺構です。

総ケヤキ造りの堅固な薬医門で、鬼瓦には本陣星野権兵衛家の家紋「細川九曜」紋が見られます。明治初期にここ大間木の地に移築されました。

ここからは清泰寺、大間木氷川神社などの見どころも近いのですが、またの機会にお伝えします。みなさんも西高周辺の名所旧跡や古刹などの情報をお寄せください。



おことわり この記事は

2015年秋に西麗会広報部が現地取材して作成したものです。その後の変更や、見学できない曜日等に関する情報はホームページ等で確認してください。

なお本記事中には現地案内板の説明文やさいたま市ホームページの記述を参考にした部分があります。

(広報部 大熊・小林)

同窓会だより 今日だけ高校生

還暦同窓会

神尾 克久 (昭和48年卒)

浦和西高1973年(昭和48年)卒の同窓会は、同窓生全員が還暦を迎えた最初の土曜日である4月4日に、ラフresaいたま3階櫻ホールにて開催されました。午後2時から21時まで、第2部からは最上階のレストランレガーロに会場を移しての長丁場でしたが、東は米国ワシントン州、西は仏国パリ、南は越南国ホーチミン市と、世界各国から159名の参加者を集めて盛大に盛り上がり、無事に終了しました。

参加者の中には、卒業以来初めての同窓会参加となる方も多く、当日は久しぶりの再会を喜び合ったり、お互いの変わり果てた姿に驚く人、逆に変わる人など、参加者のそれぞれが、懐かしい旧友たちとの時間を満喫しました。皆さんお疲れ様でした。また次回も元気に騒ぎましょう！



柔道部OB会開かれる

柔道部OB会会長

野口 勇 (昭和36年卒)

平成27年5月23日土曜日、さいたま市岸町の割烹千代田で浦和西高柔道部OB会を開催しました。去年は2月頃でしたから、1年数か月振りになりました。夕方4時からでしたが、その前には全員集まりました。みんな律儀な性格です。

昭和30年度卒の大室さん、31年度秋山さん、33年度石橋さん、34年度前西麗会会長高橋さん、36年度柔道部OB会会長の野口、37年度は川又、正能、白鳥、制野、八木と5人、41年度河野、44年度塩井の12人が元気に集いました。卒業後半世紀以上の年月を経て故人も多くなり、体調関係で参加できない等で年月の流れは寂しくもあり仕方ありません。

先輩の昔話を聞き、遥かに遠い高校時代の柔道をしていた頃が懐かしく思い出される楽しい会となりました。二次会は近くのスナックでお酒とカラオケで結構長い時間を過ごし、また来年の再会を約束して会は終了。

50数年前、柔道場を持たなかった当時は、体育館の舞台の上に畳を敷いて練習。柔道場のある他高校とはハンデがありながらも36年度卒からは2名、38年度率は1名の国体出場という強い柔



2015年 浦和西高柔道部OB会 平成27年5月23日 会場 割烹千代田

道部で埼玉県内でも常に上位の成績を上げていました。現在、浦和西高には柔道部が無く廃部状態と聞き、当時は多くの柔道部員が畳の上で躍動していたことが、今は幻とは残念です。西高柔道部が今一度復活すること期待です。



卓球部OB・OGの集いが開かれる

北田 明 (昭和43年卒)

平成27年10月17日に、卓球部の同窓会をもつことができました。前回から4年の時が過ぎ、今回は第1期生(昭和28年卒)と第22期生(昭和49年卒)までの幅広い年代からの参加を得て、話題もいっそう広がりが花が咲きました。いつもOB・OGがほぼ同じ人数が集まり、これも一つの西高魂といえるかも知れません。



昭和57年卒同窓会開催

吉田 浩之 (昭和57年卒)

前回の卒業後30周年を記念して開催した同窓会の4年後の平成27年10月19日に、大宮の天空のジパングで同窓会を開催しました。恩師の藤和弘先生、中村正美先生、荻山安子先生を含め94名が集まりました。会の中では、入学したての1年生、修学旅行に行った2年生の時のクラスで集まる時間も設け、気分は当時の西高時代に戻って話題は尽きず、盛り上がりがありました。二次会にも多数が参加し、短い夜は瞬く間に過ぎてしまいました。



予告

昭和45年 第22回卒業生
西高入学50周年記念同窓会

平成28年10月22日

12時～14時

浦和ロイヤルパインズホテル

幹事さん応援プラン

学年同窓会を計画している方にお知らせです。

- ①1月末日までに日時・会場をお知らせください。予告を会報に掲載することができます。
- ②最新の名簿データを宛名ラベルに打ち出して提供します。
- ③同窓会終了後、西麗会報の「今日だけ高校生」の原稿と写真、最新の学年名簿をお送りください。

*個人情報保護のため、学年理事を通してお申し込みください。宛名ラベルの提供は年間1回に限ります。

「西高80周年記念誌」
好評販売中!

郵便局から「郵便振替」にて1,000円(送料込み)を送金し、通信欄には「80周年記念誌」と明記してください。

(口座番号) 00190-6-178474
(加入者名) 浦和西高等学校西麗会



▲ 昨年の総会



▲ 昨年の懇親パーティー

5月22日(日) 母校で会いましょう

～ 西麗会総会のご案内 ～

日 時 5月22日(日)
 10:30 総会開会
 11:30 記念授業
 12:40 懇親パーティー
 14:30 閉会予定

会 場 西高50周年記念館

記念授業講師 新井周二先生

演 題 「0(ゼロ)乗とは何か!？」

今年の記念授業は数学の新井周二先生

「0(ゼロ)乗とは何か!？」



新井周二先生は熊谷市ご出身、熊谷高校から国立電気通信大学電気通信学部を卒業後25歳で教壇に立たれました。材料科学を専門に勉強され研究者を目指しておられました。

たが、人と接する方が向いていると思ひ就職の道を選ばれたそうです。西高には昭和62年4月から平成9年3月まで勤務、現在剣道三段、西高も含め勤務校全てで剣道部副顧問をされました。当時は10組まで有り、特に女子が元氣だったのが印象に残っていて、西高は文化的な学校だと思ひがその中で数学を教えることが楽しく、西高で数学教師としての力を付けられたと思ひているそうです。

前任校と比べると西高は自由で集合などに時間がかかることに驚いたが、大人の会話が出来る生徒達がいいて大学のような雰囲気もあると思ひ、6年間の担任も楽しかったと懐かしそうにお話しされていました。平成28年3月で定年退職されますが若々しくまだまだ教育への情熱が溢れている新井先生の記念授業が今からとても楽しみです。

教え子の皆さんもそうでない方達もぜひ「0乗とは何か!？」の答えを見つけれに母校に来ませんか？

(文責) 阿部博之

綿貫保子 (昭和45年卒)

編集後記

会報第40号をお届けします。この会報は休刊した時期があったと伺いますが、駅伝のように途切れることなくタスキを伝えていきたいと思ひます。

記事や情報の提供も増え、会報第39号を読んだスリス在任の会員から「西麗会欧州事務局を立ち上げたら」との投稿がありました。

誠に嬉しい限りで、この会報が皆さんにとって交流の場となりますよう、広報部一同、努めて行きたいと思ひます。(大熊)

広報部会

大熊 幸雄・本間 葉子
堀田美枝子・小林 功
岩本 和久・片岡 浩一

編集・発行

西麗会

発行人 村上明夫
編集人 大熊幸雄

〒330-0042

埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1

FAX 048(830)1117

西麗会メールアドレス

info@seireikai.org

西麗会ホームページ

http://www.seireikai.org/index.html